

「認知症の地域支援を考えよう」研修会のご案内

北九州在宅医療連携拠点事業委員会

委員長 中村 貴志

北九州在宅医療連携拠点事業委員会は、平成 24 年度厚生労働省在宅医療連携拠点事業の一環として組成され、「認知症を地域で支えるための医療と介護の連携の在り方」をテーマに事業を進めています。

この度、「認知症の地域支援を考えよう」をメインテーマに研修会を開催することにいたしました。

研修会では、認知症ケアにおける医療と介護の望ましい地域連携の在り方について、認知症高齢者やその家族をはじめ、認知症ケアに関わる医療・介護の多職種の専門職、ならびに行政関係者がともに考え、意見交換を行うことで、さらなる連携を深めていきたいと考えております。

つきましては、医療関係、薬局、訪問看護、地域包括支援センター、ヘルパー、デイサービス、ケアマネジャーなど多くの方々にご参加いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

テーマ「認知症の地域支援を考えよう」

～多職種で考えよう！認知症を支えるための医療と介護の連携の在り方について～

日 時：平成 24 年 11 月 10 日（土曜日） 受付 9:00 開始 9:30～16:00

研修会場：西日本総合展示場 AIM3 階 314・315 会議室

9:30～ 9:40 開会あいさつ 北九州市より

9:40～10:30 基調講演「医療と介護の連携の重要性について」

～医療と介護の連携においてかかりつけ医から望むこと～

京極町国民健康保険診療所（ひまわりクリニック）所長

北海道大学名誉教授

日本プライマリ・ケア連合学会前理事長

前沢 政次 先生

10:30～11:00 行政からの報告

「北九州における認知症を有する方の現状について」

北九州市保健福祉局地域支援部 介護保険課課長 横山 久 氏

11:00～11:30 在宅医療連携拠点事業についてのご報告

福岡教育大学教授

在宅医療連携拠点事業委員会 委員長

中村 貴志 先生

11:30～12:30 休憩

12:30～13:50 パネルディスカッション

座長：北九州医療連携拠点事業委員 中村 貴志 先生

【パネリスト】 田中歯科医院：田中 徹 氏

白水薬局：白水 京子 氏

小倉南北訪問看護事業者連絡会：加藤 ひとみ 氏

福岡県作業療法協会：谷川 良博 氏

老いを支える北九州家族の会：高田 芳信 氏

福岡県高齢者グループホーム協議会：田中 秋子 氏

恵友会ケアプランステーション：加賀美 由旗 氏

北九州市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会：岡島 清美 氏

14:00～16:00 グループディスカッション

16:00 閉会

参加費 無料

参加ご希望の方は、11 月 5 日（月曜日）までに別紙ファックスにて、お申込みください。

※ 定員を超えて、お断りをする場合のみご連絡いたします。

特別協力：NPO法人 ケアマネット21